



BUSINESS REPORT

2022年8月期 2021.9.1 - 2022.8.31



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカホールディングス

証券コード2157



コロナ禍をV字回復で乗り越え、
中期経営ビジョンの達成に向けて
積極的な成長戦略を
推し進めてまいります。



Koshidaka

株式会社 コシダカホールディングス

Koshidaka

株式会社 コシダカ
株式会社 コシダカプロダクト



代表取締役社長 腰高 博

Q.1 当期の業績はいかがでしたか

2020年初頭から始まったコロナ禍の影響は、2年以上の長きにわたってカラオケ業界に吹き荒れ、営業自体を自粛せざるを得ないような厳しい局面が続いておりましたが、まん延防止等重点措置が全面的に解除された2022年3月22日以降、潮目が大きく変わり、客足は急速な回復を示しました。当社グループの既存店の売上高の推移を見ると、当期最終月の8月は第7波発生の影響を多少うけたものの、それまでの期間はコロナ禍前の2019年8月期比でほぼ100%の水準まで戻すことができました。

この結果、当期(2022年8月期)の連結業績は急速なV字回復

を果たし、売上高は前期比82.7%増の大幅増収により379億95百万円まで回復し、各段階利益は前期の大幅赤字から黒字転換を果たし、最終利益は3年ぶりの黒字となる36億43百万円を計上することができました。

株主の皆様への配当につきましては、安定配当を基本に、年間配当8円(中間4円+期末4円)と、前期比4円の増配とすることができました。引き続き、中期経営ビジョンの達成に向けて、社員一丸となって取り組んでまいり所存です。

Q.2 当期V字回復の主な要因は何ですか

当社の業績回復スピードは極めて速く、業界でも極めて抜きん出た回復ぶりを示しています。

当社のV字回復の要因は、第一に、ここ数年来の店舗ポートフォリオ改革の成果が如実に表れたものと自負しております。当社は、2016年頃から首都圏の「駅前繁華街」を中心とした出店にシフトし、同時に、ブランド力・集客力の向上を背景に「店舗の大型

化」を推し進めてまいりました。たとえば、2016年8月期から2020年8月期までの5年間で新規出店186店舗中130店舗(70%)が駅前繁華街への出店です。また、新規出店平均ルーム数は、2016年8月期の18.1ルームから2020年8月期には30.9ルームと、店舗の大型化が大幅に進んでいます。このように、当社の店舗は、この5年間で、より大きな市場ポテンシャルを持つ駅前繁華街で、

業績ハイライト



※ 2020年8月期第2四半期末までの業績については、2020年8月期第2四半期末を基準日として当社子会社株式の現物配当(スピンオフ)を実施したカーブスホールディングスグループの業績も含んでおります。

より多くのお客様をお迎えすることができる大型店舗を中心とした構成へと、大きな質的変革を遂げてきており、これが、まん延防止等重点措置全面解除後の急速なV字回復の最大の原動力となった、と考えております。

第二に、コロナ禍の厳しい事業環境下にあっても、この店舗ポートフォリオ改革の手を緩めることなく実施してきたことが挙げられます。1年を通してコロナ禍の影響を受けた2021年8月期と2022年8月期の2年間で、当社は計96店舗・2,628ルームの出店を果たしました。これが、当期のV字回復に更に勢いを付ける大きな要因となりました。また、これによって、縮小均衡策を取ってきた同業他社との間で、新規出店数と総店舗数において圧倒的な差が生じております。

第三に、長年コツコツと積み重ねてきたマーケティング政策の成果であると考えております。まん延防止等重点措置全面解除によって人々の生活が従来の日常を取り戻してきた時に、多くのお客様がカラオケのご利用を再開してくださり、そこで「まねきねこ」が“一番指名”を受けることができたのだと考えています。業界に先駆けて導入していた「全室禁煙化」が若い女性の圧倒的的支持を受けて、今や「まねきねこ＝清潔」というイメージが定着しています。「ZEROカラ」や「まふ」など、常に画期的なサービスを開発・提供してきました。

こうしたハード・ソフト両面からの攻めの経営が、圧倒的な収益基盤の構築に繋がってきたものと自負します。

Q.3 中期経営ビジョンの進捗状況はいかがですか

中期経営ビジョンである「1,000億円」・「30,000ルーム」に対して、ルーム数ベースで当期によく5合目辺り(14,327ルーム)まで到達しました。今後、出店の取り組みを更に加速させ、目標達成に邁進してまいります。そのために今、最も重視しているのが人財の採用と育成です。加速する出店ペースに合わせて、店長やエリアマネージャーの養成・増員を図っていくべく、講師陣を倍増するなど、教育・研修体制の強化も進めています。更に、2022年9月、働き方改革に向けた「コシダカ・ワークスタイル・イノベーション・プラン」の策定、昨今の諸物価高騰等を勘案した「ベースアップ」決定(2022年10月支給分より

実施)など、人財重視の施策も推し進めています。

また、中期経営ビジョンの早期実現に向けて、2022年2月に公表したアドバンテッジアドバイザーズとの事業提携については、現在、「高度人財の積極的な採用と持続的な成長を維持する組織体制づくり」など、4つの方針に基づいて積極的な取り組みを行っています。2022年9月には「DX推進室」を新設し、アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携の窓口の機能も果たしながら、当社グループのDX推進に取り組む体制を整えました。既に、当社のあちこちで化学反応が起こり、新しい価値がどんどん生まれようとしています。

➡ 代表的な事例は特集記事をご覧ください。

Q.4 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします

株主の皆様には、これまで大変なご心配をお掛けし続けたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。同時に、変わらず当社グループをご支援し続けていただきましたこと、心より御礼申し上げます。

8月期)は、事業環境の急変がない限り、過去最高益の更新を見込んでおります。コロナ禍によって失った2年半を、これからの取り組みで一気に取り戻すべく、挑戦を加速してまいります。

当社グループの今後の経営にご期待いただき、引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。

お陰様をもちまして、当期はV字回復を果たし、次期(2023年

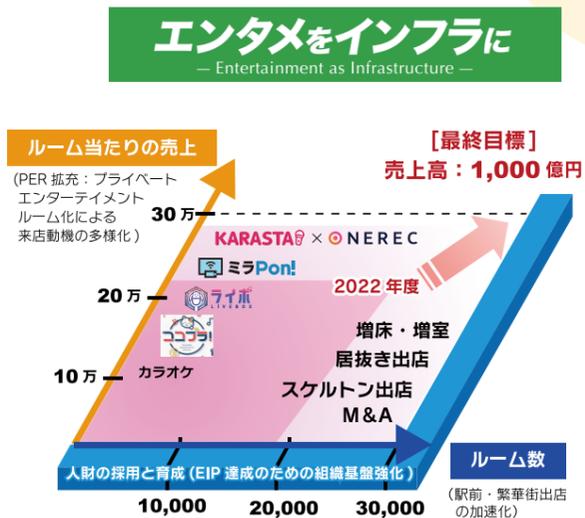
カラオケセグメント業績



中期経営ビジョン 「エンタメをインフラに」が確かな進捗！

私たちは、従来のカラオケの枠を越え、「エンタメをインフラに」していく中期経営ビジョン実現に向け、チャレンジを継続しています。現在、右図のように、「新しいサービスの創造」と「駅前・繁華街出店の加速化」を積極的に推し進めています。主な進捗状況をご報告します。

人々の **ワクワク** を増やす！



全国の全世代の“コアなファン”を対象に、 多様なライブビューイングをお届け

従来の「ライブビューイング」では、コンサート会場のライブ映像を全国各地の上映会場の大型スクリーンに配信する、といった活用が一般的でした。しかし、当社では、渋谷本店等の当社独自のライブ会場からライブ映像を全国の「まねきねこ」のカラオケルームに配信する新たなサービスを開始し、多くのお客様の注目を集めています。たとえば、歌声サロン主催者として人気を博する音楽家の杉山公章氏とコラボし、昭和歌謡コンサートをライブ配信し、多くのシニア層に訴求するなど、「まねきねこ」の新たな利用価値が着実に支持層を増やし始めています。今後も、各世代のコアなファンに向けて、独自のライブ配信を行っていく計画です。



にじさんじライブ & ライブビューイング

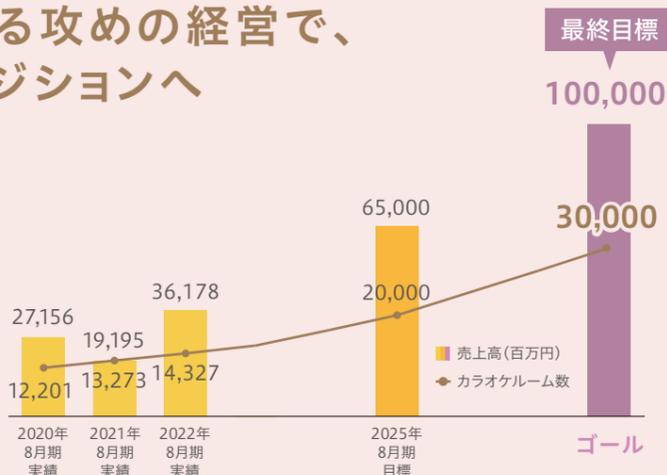


歌声サロン主催者の杉山公章氏

中期経営
ビジョンの進捗

コロナ禍の2年間を含め、数年間継続して 積極出店を継続する攻めの経営で、 より盤石な業界ポジションへ

首都圏を中心とした駅前・繁華街出店に大きく舵を切った数年前から、当社の積極出店戦略は続いており、コロナ禍の2年間も決して緩めることなく継続してきました。2022年8月期は、カラオケまねきねこで48店舗の新規出店を果たし、期末店舗数は577店舗・14,327ルームにまで拡大しています。近年の当社店舗数の増加は業界随一を誇るとともに、収益性においても、より収益性の高い店舗ポートフォリオへの転換が着実に進んだことで、更なる高収益体質へと進化を遂げています。



カラオケルームから「PER※」の進化も順調 従来にないサービスも提供

※PER: (プライベートエンターテインメントルーム)

▶ cocoro:id (ココロイド)



cocoro:id

バーチャルキャラクターとの1対1の通話が可能

アドバンテッジアドバイザーズとの事業提携による取り組みから生まれた第一弾のサービスとして、バーチャルキャラクターとの双方向型コミュニケーションサービス「cocoro:id (ココロイド)」を活用したコラボイベントを開催 (2022年9月)。

▶ ミラPon!



ミラPon!

防音環境でライブやスポーツ観戦が楽しめる

プライベートシアターのように映画が楽しめる

「まねきねこ」の利用を、カラオケだけにとられないコンテンツとして開発された新サービス「ミラPon!」。カラオケのモニターやスピーカーを使って、お客様のスマホやタブレットのコンテンツをお楽しみいただける新たなご利用方法が好評です。

▶ まねちゅ〜



さんまゲームが復活予定

スマホで簡単オーダー

「まねきねこ」が新たなアプリを開発・導入しました。「スマホからお食事を簡単オーダー」、「ご利用額に応じてまねきねこポイントを付与」、「ランクに応じた割引が適用されるランクアップシステム」など、便利とお得が満載。更に、ゲームも生まれ変わり、新たな楽しさが加わる予定です。

▶ PG (プレイガーデン)



練習もゲームもじっくり楽しめる



プロ向けマシンの完備



「カラオケ」+「新しいエンタメ」の提供を目指した実験的な取り組みとしてPG (プレイガーデン) があります。ダーツやビリヤードを併設したPGを「まねきねこ」店舗に隣接させ、総合的なエンタメ空間の提供を図っています。

▶ コラボ企画

「まねきねこ」では、幅広い層のお客様に向け多彩なアプローチをしており、その一つが、独自のコラボ企画の展開です。たとえば、若年層に人気のあるアニメやVTuberなどとコラボした飲食メニューの提供など、まねきねこならではの企画が満載です。



にじさんじとのコラボ企画



東京リベンジャーズとのコラボ企画

Information

会社の概要 (2022年8月31日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区虎ノ門四丁目3-20 神谷町MTビル17階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 20億7,025万7,500円
 事業内容 カラオケ事業(店舗数: 国内582店舗、海外11店舗) 温浴事業(店舗数: 3店舗)
 従業員数 グループ従業員 4,087名 (正社員 859名、パート・アルバイト 3,228名) パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2022年8月31日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(常勤監査等委員) 西 智彦
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子 社外取締役(監査等委員) 高井 研一
 常務取締役 土井 義人
 取締役 座間 晶

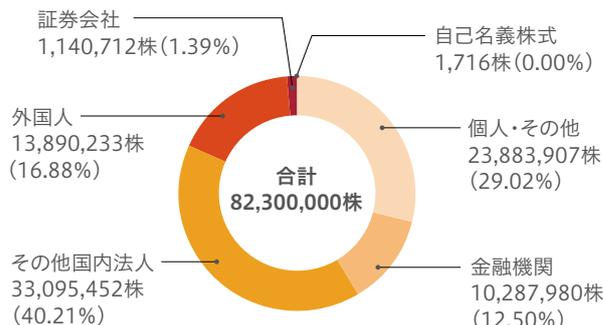
大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	21,328,000	25.92
株式会社ぶくる	8,368,000	10.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,860,200	8.34
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	5,856,159	7.12
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,601,500	1.95

株式の状況 (2022年8月31日現在)

発行可能株式総数 307,200,000株 株主数 47,220名
 発行済株式の総数 82,300,000株

所有者別株式分布状況 (2022年8月31日現在)



株主メモ (2022年8月31日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日 毎年8月31日
 定時株主総会・期末配当
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

カラオケまねきねこ 公式アプリ 大幅リニューアル!

お持ちのスマホで簡単にオーダーできる『まねちゅ〜』や、新しいゲームを追加! より使いやすく楽しくなりました!!

株主優待のご案内

2022年8月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上の株式を保有されている株主様に、下記の株主優待の実施を予定しております。



保有株式数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株~399株	2,000円相当の株主優待券*	4,000円相当の株主優待券*
400株~999株	5,000円相当の株主優待券*	10,000円相当の株主優待券*
1,000株以上	10,000円相当の株主優待券*	20,000円相当の株主優待券*

※株主優待券は、当社の運営する日本全国のカラオケまねきねこ、ひとりカラオケ専門店ワンカラ、温浴施設でご利用いただけます。なお、「継続保有期間3年以上」に該当する株主様とは、毎年8月末日及び2月末日の株主名簿に「同一の株主番号」で連続して7回以上記載または記録された株主様となります。



株式会社コシダカホールディングス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門四丁目3-20 神谷町MTビル17階
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。